



平成 31 年 3 月 29 日

独立行政法人国立科学博物館

### 日本博公式企画

#### 企画展「日本人が育んださくらそうの文化史」開催のお知らせ

独立行政法人国立科学博物館(館長 林 良博)において、来る4月6日(土)から4月14日(日)まで、日本博公式企画 企画展「日本人が育んださくらそうの文化史」を開催いたしますので、お知らせします。

本企画では、日本の伝統園芸植物であるさくらそうを、江戸時代から続く伝統的な鑑賞方法で展示します。

さくらそうの多様な園芸品種は、日本の野山に自生するわずか1種の野生種をもとに、江戸時代から作出されてきたものです。本展示では、日本の伝統園芸文化であるさくらそう園芸品種の作出の歴史を科学的に紐解きます。江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をご覧ください。

(詳細は別紙のとおり)

#### 本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：田中 法生(植物研究部 多様性解析・保全グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-853-8984 FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbk.kahaku.go.jp/>

※「日本博」は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、日本の美や日本の魅力を国内外に発信することを目的に全国で行なわれる展覧会及びイベント等一連の事業です。

## 日本博公式企画「日本人が育んださくらそうの文化史」

1. 目 的 日本の野生サクラソウを遺伝資源として育成されてきた伝統園芸のさくらそう品種を、江戸時代から続く方法で展示し、伝統園芸の奥深さを紹介します。
2. 名 称 日本博公式企画 企画展「日本人が育んださくらそうの文化史」
3. 主 催 独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター
4. 協 力 筑波大学大学院生命環境科学研究科植物育種学分野、筑波大学さくらそう里親の会、NPO つくばアーバンガーデニング
5. 会 期 平成 31 年 4 月 6 日（土）～平成 31 年 4 月 14 日（日）計 8 日間  
（4 月 8 日（月）休館）
6. 場 所 国立科学博物館（東京・上野公園）中庭

### 7. 展示構成

#### ①さくらそう園芸品種の展示

筑波大学が保有するさくらそう園芸品種約 30 種類を、江戸時代から続く伝統的な鑑賞方法である桜草花壇で展示します。

#### ②さくらそう園芸品種の作出の歴史

サクラソウの野生種からの園芸品種作出、多様化の歴史について最近明らかになってきた科学的知見とともに、パネル紹介します。

#### ③さくらそうとは

準絶滅危惧種に指定されているサクラソウ野生種の生態と現状について、実物とともにパネル展示します。



伝統的な鑑賞方法「桜草花壇」